

花巻市東和地域協議会
平成25年度第3回会議記録

日 時	平成25年8月5日（月） 10:00～10:50							
場 所	花巻市東和総合支所 1階 第1会議室							
委 員	役 職	氏 名	出席	欠席	役 職	氏 名	出席	欠席
	会 長	小原 宏	○		委 員	下坂 淳代	○	
	副会長	吉田 英雄	○		委 員	猿舘 祐子		○
	委 員	菊池 隆耕		○	委 員	小田島 忍	○	
	委 員	下林 育男	○		委 員	日下明久美	○	
	委 員	平野 保	○		委 員	晴山 准子		○
	委 員	赤坂 學	○		委 員	川村 哲夫	○	
	委 員	小川 洋征	○		委 員	藤井 公博	○	
出席職員	東和総合支所 支所長 赤坂謙 地域振興課 課長 多田潤、課長補佐 藤根幸生、地域づくり係長 佐藤健、 上席主任 三熊俊正 市民サービス課 副参事兼課長 藤井正昭 地域支援室 地域支援監 青木力三							
傍 聴 者	0名（うち報道機関0名）							

司会：地域振興課長補佐

1 開 会（司会）

※ 出席者過半数により会議が成立することを報告

2 会長あいさつ（小原宏会長）

皆様には大変お忙しいところお集まりいただき、本当にありがとうございます。いよいよもちまして、花巻市まちづくり総合計画（案）の諮問に対する答申につきまして、とりまとめの作業に入るということになります。できるかぎり、本日、答申案を作りたいと考えておりますので、皆様からご忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

※ 以後、会長が議長となる。

3 議 題

審 議 花巻市まちづくり総合計画（案）について

小原宏会長 それでは、議題の花巻市まちづくり総合計画（案）に対する答申について協議します。

7月31日に諮問を受けたわけでございます。その中で皆様からいろいろご意見が出たところですが、改めて本日、答申について協議することになり、付帯意見等がある方は8月2日までに、

事務局あてに提出いただくこととなっております。本日の資料のとおり、3名の委員の方々からご意見がありましたので、つきましては、この3名の委員の方々から、ご提出いただいたご意見等についてのご説明をいただきたいと思っております。

※ 平野保委員、小川洋征委員、日下明久美委員から資料により説明を受ける。

小原宏会長 平野委員からは、計画案には花巻の匂いと色気が感じられないというお話でしたし、日下委員からは、本市の強みについて花巻らしさがない、インパクトに欠けるといったお話でした。これらにつきましては、前回もお話いただいたということで、それだけ思いが強いものと思っております。小川委員からの、家庭教育の充実にかかる施策を取り入れること、幸福度指標の導入につきましては、今回、新たに出されたものですので、これらにつきましても、皆さんで意見をもんでいきたいと考えております。そのほかのご意見がございましたら賜りたいと思っております。はい、赤坂委員どうぞ。

赤坂學委員 やはり私も、長期ビジョンを読みますと、花巻らしさが出ていないと強く感じました。どうも他の市と比べても、花巻の魅力がないような感じがしてなりません。本日は、東和地域としての意見を、花巻市の発展のために市政に反映していただきたいという考えで、会議に臨んだらさせていただきます。

小原宏会長 やはり今のお話も花巻らしさがないというふうなことでした。そのほかございませんか。はい、川村委員どうぞ。

川村哲夫委員 よく検討されて作られた計画であると思っておりますが、全体的に消極的な感じがします。やはり10年計画ですから、大きな課題を出したほうがよかったのではないかと考えています。最近、問題になっているILCとかTPPとか、そういう具体的な現実的な問題に対しては、どれにも触れていないような感じがします。ILCが具体的に出た場合、だいぶ全体が変わってくるということ。それから、TPPについてもかなり農業政策を変えないと、とても太刀打ちできないと思います。そういう大きな観点から考えて、このままのような計画では、ちょっと弱いと思います。工業誘致をすとか、企業誘致をすとか、特色ある森林開発をすとか、そういった、もっと大きなビジョンを謳ったほうが、非常に迫力があると思います。とにかく、人口が減少傾向にある中で、どのようにして人口を増やして活性化させるかということのほうが、むしろ大事だと思いますし、そのためには、工業誘致が必要だと思います。それから、ILCが北上山地に決まった場合、国際都市となりますから、それに対してどうするのかという、大きな問題が取りざたされなければならないと思います。また、人口政策のうえでは、Uターン政策というのがあっていいと思います。とにかく、人を寄せ付けることを考えてもいいのではないかとこのように考えています。計画は非常によく書かれていますが、非常に消極的な感じがしたので、もっと大きな迫力のあるビジョンを作ってもらいたいなと思っておりました。

小原宏会長 はい、地域振興課長どうぞ。

地域振興課長 私のほうからコメントです。小川委員から出された家庭教育の充実についてですが、長期ビジョンの18ページの人づくりの政策の目指す姿の中で、子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいますとか、こういうかたちの中に含まれるという解釈であります。さら

に第1期中期プランの51ページ、52ページの中の、子育て支援の充実とか、家庭の教育力向上という中にも含まれているという解釈でございます。表現が小川委員のご意見と若干違いますが、この中で謳っているという考え方でございます。総合計画策定室に確認したところ、家庭教育の充実につきましては、本計画に含まれているという見解でございました。それから、幸福度指標についてですが、評価検証に関する指標としてあげてはどうかということですので、今回、諮問を受けました長期ビジョンの中ではなく、中期プランの中での指標ということになりますので、これにつきましては、中期プランの指標として、このようなご提案があったというかたちで、総合計画策定室に対して報告するかたちになろうかと思っております。以上が私のほうからのコメントです。

小原宏会長 小川委員、そのようなことなそうです。

小川洋征委員 行政といいますと、教育委員会と組織が分かれていますので、総合計画の中に子供に夢を持たせるとか、そのようなことを含めたビジョンがあってもよいのではないかということです。ビジョンの中では家庭教育というふうに言われていますが、どうしても勉強のことばかりのイメージがあります。最近、犯罪の低年齢化が進んでおりますが、家庭教育で親がちゃんと教えるということの指導について、地域と一緒に考えていこうということを入れているかということでございます。子供のしつけの重要性、それが、将来にわたって子供の育成、地域に寄与していくということの考え方を入れてもらいたいということです。教育といいますと、イコール勉強という考え方をもちますので、そこと分けてしまったほうが良いと思います。

小原宏会長 はい、藤井委員どうぞ。

藤井公博委員 私は今回の答申については、基本的に原案を可とする旨の答申をするということを考えております。本計画については、素案の段階で一度説明があつて、それから前回、答申のための説明があつたわけです。さらにその間に、パブリックコメントで意見を出す機会もありましたし、さらに遡れば、市民会議の発足があり、多くのメンバーが参加してきました。また、そういうことが広報でも載っていましたし、発言する機会もありました。ですから、今日はまとめの段階という考え方で、一つ一つご理解をいただきながら、前に進むような議論をしていってはどうかと思っております。

小原宏会長 そのような、まとめる方向にもっていてもよろしいですか。まだ、お話しされたいという方はございませんか。はい、下林委員どうぞ。

下林育男委員 長期ビジョンの6ページですが、人口の推移が10年後には9万人を切るようなことになっています。各集落でも限界集落というように、少子高齢化に歯止めをかけるとか、何をどのようにどうするのかという具体的ビジョンを示して、積極的に取り組まないと、この推計を見ると危機を感じます。花巻市があるのは、一人ひとりが寄り添う絆があるからこそなので、何か皆で手立てを考えることが必要だと思います。

小原宏会長 これらにつきましては、中期プランに載っていたと思います。はい、小川委員どうぞ。

小川洋征委員 この花巻市まちづくり総合計画につきましては、1年前からいろいろな組織を作って段階的にまとめた計画でございますから、今さら意見を提案したところで、それを直すのには、相当インパクトのある提案でなければならないと思います。ですので、今まで出された意見について、それを答申に付け加えるかにつきましては、会長に一任するということがいかがでしょうか。基本的には、この長期ビジョンについては賛成ですので、付帯意見を付けるかにつきましては、会長にお任せするということがいかがでしょうか。

小原宏会長 はい、わかりました。先ほど、藤井委員からも同じようなご意見がありましたので、まとめに入る方向で進めてよろしいでしょうか。（各委員より「はい。」）はい、平野委員どうぞ。

平野保委員 全般を通して、成熟の時代で縮小というのがある中で、なかなか積極的なことが出せないで、このようなかたちかなと思っております。まちづくりビジョンということで、各分野で描かれていますが、そういう姿にどのようにしてもっていくのか、強みを活かしてさらに伸ばしていくかたちなのか、弱点をカバーする総合的なかたちなのかがわからないということを申し上げたわけです。

小原宏会長 はい、藤井委員どうぞ。

藤井公博委員 あくまでも、今回の諮問は総合計画の長期ビジョンについてですので、皆さん方のご賛同をいただきながら会長に一任して、一言だけ付け加えることができるのであれば、中期プランについても、1年ごとに、成果指標の達成度や評価、見直しについて地域協議会に報告いただきたいということを加えていただきたいと思います。

小原宏会長 はい、わかりました。

東和総合支所長 答申につきましては、原案を可とするとか、意見を付して可とするというような言い回しもございますので、今まで出されたご意見を検討したうえで、付帯意見を付け加えるというかたちでも、地域協議会のご意見としてよろしいのではないのでしょうか。

小原宏会長 原案はそのとおりでよいとのこととして、やはり、皆様からは、花巻らしさが見えてこないというご意見がございますので、これをどのような表現で付け加えるのかを副会長と相談しながら、必ず付け加えてみたいと思います。それから、今、提案のありました、中期プランについての年度毎の地域協議会に対しての報告についても、付け加えてもよいのではと思っております。そのように進めていきたいと考えております。小田島委員いかがでしょうか。

小田島忍委員 賛成です。今回、諮問を受けた花巻市まちづくり総合計画の長期ビジョンにつきましては、原案のとおりでいいと思います。ただ、答申とは関係ありませんが、中期プランにつきましては、いろんな指標が出ていますので、だいたい責任感をもって作成していると感じましたが、事業の名称を列挙できないものかと思いました。

小原宏会長 下坂委員はいかがですか。

下坂淳代委員 長期ビジョンについては、原案のとおりでいいと思います。これから10年間に世の中がどう変化するかわかりませんので、そのつど柔軟に対応していただければいいと思います。

小原宏会長 それでは、取りまとめをしてよろしいでしょうか。（各委員より「はい。」）それでは、原案を尊重しこれを良とするということを基本にしながら、付帯意見につきましては、会長、副会長に一任するという、皆様からのご意見でしたので、そのような方向で進めてよろしいでしょうか。（各委員より「はい。」）はい、それでは全会一致ということですので、会長、副会長のほうに一任いただくこととします。事務局のほう、これでよろしいでしょうか。

地域振興課長 はい。それでは、まとめた答申書につきましては、事務局のほうから、各委員の皆様へ写しを送付差し上げます。よろしいでしょうか。

小原宏会長 それでは、そのようにさせていただきますので、よろしく願いいたします。それでは、協議につきましては、これで終了いたします。

4 その他

なし

5 閉 会（司会）

※ 協議会終了後、東和総合支所3階相談室において、会長と副会長が答申の内容について協議し、答申書を作成